

「旭市学校警察連絡委員会」の活動 ～子どもたちの健全育成を目指して～

今年2月、川崎市で13歳の少年が殺害される痛ましい事件が発生し、凶悪・粗暴な少年非行が深刻化しているなど極めて憂慮すべき状況にあります。このような情勢の原因・背景としては、少年自身の規範意識の低下、家庭のしつけや学校の在り方、地域社会の問題、少年を取り巻く環境の悪化などの要因が、複雑に絡み合っているものと考えられます。

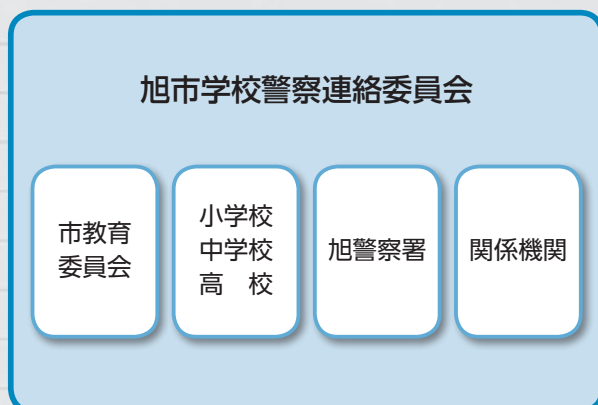
このような少年非行の問題は、学校や家庭、地域社会が一体となって自他の生命を尊重し、心優しい旭の子どもたちを育てる取り組みが大切です。旭市においても学校と警察署が連携し、旭市学校警察連絡委員会を設けています。ほかの関係機関との連携の強化も図り、非行防止や被害防止を目指し、協議や連絡会、防犯活動の実施などを推進しています。

具体的には次のような活動に取り組んでいます。

- 特別パトロール(七夕市民まつり、年末、年度末)
- スクールガード・リーダーによる小学校の巡回
- 緊急事件発生時の対応
- こども110番の家の協力依頼
- 防災行政無線を利用した帰宅を促す放送
- 定期パトロール(登校時の市内全域)
- 小中高指導委員会の開催
- 中学校・高校・警察との連絡会の開催
- 善行児童生徒の表彰

献身的な奉仕活動を実践したり、学校のリーダーとして努力したり、学校や家庭、地域において、発展充実に寄与した児童生徒を表彰します。また人命救助や顕著な

組織イメージ図



善行についても表彰しています。

●旭市不審者情報メール配信サービス

声掛け、後追い行為、露出、個人情報取得しようとする不審電話などの不審者情報を配信しています。情報に注意するとともに、市内全体の児童生徒の見守り活動などに活用してください。市ホームページなどから登録できます。



●青少年健全育成剣道大会

今年で53回目を迎える大会で、毎年12月初めに開催しています。市内小中学校・高校の児童生徒の剣士が集まり、熱い戦いが繰り広げられます。

このような活動を通して、青少年の健全育成を図っています。



熱戦が繰り広げられる大会

校長リレーエッセイ

13



飯岡中学校と ボランティア活動

飯岡中学校長
梶山 定一

昭和初期に波による陸地の浸食を防ぐため、校長が掲げた「我ら波止」の看板の下、子どもたちが海岸に石を置き波止(防波堤)を築き、国・県による護岸工事着手の契機となった。この荒波に抗して地域を愛し守ろうとした精神や行動は受け継がなければならない。

4年前の大津波で甚大な被害を受けた飯岡地域は、各地から駆け付けてくださったボランティアの皆さんのおかげで復旧が進み、卒業式を迎えることができ、授業再

開にこぎ着けた。このときの感謝の気持ちを忘れず、被災経験をその後の生き方に生かさなければならない。

これらの思いを込めて、4年前からボランティア活動の充実に努めている。現在では、福祉施設での仕事の手伝い、入居者などとの触れ合い、合唱や演奏などの発表「しおさいマラソン大会」「いいおかYOU・遊フェスティバル」「花と緑で旭を元気にするプロジェクト」「未来への道1000km縦断リレー」などでもてなしや手伝いなどを、校内でのボランティア活動と併せて実施している。このような活動に年間数十回の募集がかけられる。生徒は他の活動に優先して参加し、1回の募集で100人以上の応募があることも少なくない。また最近では、生徒が募集者となる活動も出始めた。

この活動を通してさまざまな方々と触れ合い、多様な体験の中で地域に貢献し、わずかながらでも支援が必要な人たちの力となり、積極性や主体性を高め、自信や誇りを身に付けた生徒が育ちつつあると感じている。